

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	21—学長—8
-----------------	---------

平成 22 年度配分 研究成果の概要

研究名	学長特別研究 ④10周年記念事業 劇場研究～舞台芸術作品の製作過程を通してみた 「大学劇場」の可能性「新作ミュージカル」公演の発表				
配分を受けた 特別研究費	特別研究費 2,050 千円				
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏 名	共同研究の 場合の分担
	文化政策学部	芸術文化学科	講師	永井聡子	企画制作 プロデューサー
共同 研究者	文化政策学部	芸術文化学科	教授	平野 昭	監修
	文化政策学部	芸術文化学科	教授	梅若猶彦	舞台芸術研究 アドバイザー
	文化政策学部	芸術文化学科	准教授	片山泰輔	広報 アドバイザー
発表の方法 (予定で可)	1 ①脚本の印刷製本納品 ②10周年記念公演事業の実施		実施日	①平成 21 年 12 月 ②平成 22 年 12 月 17 日、18 日	
	2 学会等での発表 日本文化経済学会 または学内紀要への発表(予定)		発表日 (発表 予定日)	平成 23 年 9 月 (予定)	
	3 その他 新聞、ニュースレターへの告知		発表日 (発表 予定日)	平成 22 年 5 月静岡新聞記事公開 平成 22 年 9 月～11 月	

注:配分を受けた翌年度の 6 月末までに提出

(研究の目的等)

◆研究目的

舞台芸術の知識を基礎とし、舞台制作の現場環境を創造することを通して、学生の制作能力を育成することを目的としている。公立文化施設の課題でもある「地域に根差した」「創造的な」劇場運営のこれからの担い手として、また地域そのものの文化力向上を担える人材を育てることが舞台芸術を研究する大学の使命であると思われる。

そのために、本研究において、本学が舞台芸術作品を「自主企画制作」することを特徴とし、本学学生への教育とするとともに、一般公開することによって、地域における文化力向上に資することを目指す。

平成 22 年度は創立 10 周年記念事業として、「大学劇場」の創造拠点としての役割とその可能性を追求する。平成 21 年度はその基礎固めとなった。

(研究の実施方法等)

◆実施内容

「劇場・舞台芸術研究」としての調査をしながら、大学の教員が監修、プロデューサー等としてソフトを統括・運営すること、大学の講堂を使用することによって、学生が講義と同様、日常的に教育を受ける場が与えられることを特色とする。

具体的には、学生は、①歴史、理論を学ぶとともに、②「舞台作品」を実践として、ドラマを舞台化することとは何かを追求する姿勢、また③「鑑賞者」を意識して制作運営スタッフの任務を果たすこと、④プロフェッショナルとして仕事をする専門家から舞台作品製作過程を学んでいく。

◆舞台作品《脚本のねらい》

歌が時代と共に生き、歌が希望を与えてくれた時代があった。昭和 20 年 8 月 15 日の敗戦以降、日本は混乱の只中であつたが、その暗い時代の中にいち早く輸入されたアメリカ文化のうち、映画と音楽は、日本の若者の心を捉えた。戦前の軍歌や国民唱歌ではなく、戦後が終わったといわれた昭和 31 年以降のプレスリーやロカビリーでもない、その時代の歌があつた。スタンダードジャズ、カントリーミュージックといわれる数多くの名曲は、時代のはざまの中で忘れさられがちだが、戦後という時代を、戦争の傷跡を背負って生きた人々を彷彿とさせる力をもっている。ミュージカル・ファンタジーと名づけたこの『いとしのクレメンタイン』は、そうした名曲を縦軸にちりばめながら、現代日本の出発点となった昭和 33 年（1958 年）頃の世相を背景に、戦中、戦後を生き抜いてきた男女の奇妙なめぐり逢わせと、姉弟にも似た愛情を描くものである。二人は、今日の私たちが失ってしまった人間としての一途さ、哀しさ、面白さに包まれており、現代を批評する充分な視点と力をもっている。二人の主人公たちが生きた戦後という時代を音楽劇に託して問いかけたい。

◆実施時期

◎プレイベント「公開講座」の実施・・・平成22年11月25日(木)18時10～(予定)

◎新作ミュージカルの制作(ミュージカル・ファンタジー「いとしのクレメンタイン」の作品製作)

平成 22 年 12 月 17 日(金)18 日(土) 計 2 回公演

◎平成 22 年度以降 研究調査報告書の作成・出版を予定。

(得られた成果等)

- ・全ての出演、スタッフ交渉・決定(仮チラシ添付、本チラシ作製中)
 - ・脚本執筆、編曲(添付資料)
 - ・制作プロセスの獲得
- 45 名の学生による舞台制作に関する活動の実施(チームによる制作)

※今後の予定

8 月・9 月・11 月・12 月の稽古および本番 12 月の実施。